

まつしま

議会だより

第157号

令和6年2月1日発行
宮城県松島町議会



地区の活動シリーズ①本郷分館 Ark館ヶ森(岩手県藤沢町)へバス旅行 (撮影者：北條久也本郷分館長)

- ◇ 委員会構成…………… P 2
- ◇ 議案審議…………… P 4
- ◇ 9人の議員が熱弁（一般質問）…………… P 6
- ◇ 町民インタビュー…………… P16

令和5年
第4回定例会
[12月7日～12月11日]



議長 色川 晴夫

令和6年 新年のごあいさつ

日頃より議会の運営と活動に対する温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。昨年、新型コロナウイルス禍前と同規模の議会報告会を開催させていただき、行政区の皆さま方には大変お世話になりました。地域における高齢化と人口減少に伴う後継者・働き手不足の構造問題が様々な形で日常生活の困りごとと結びつく現状と地域の要望等を把握いたしました。引き続き、政策提言に反映させるため調査し、議決機関の権能を十分に発揮しながら行政サービスの最終決定者としての責務を果たしてまいります。

また、本町議会は、昨年12月から任期3年目に突入し、折り返し地点となりました。委員会構成を改め、議員の役割と責任をもって皆さま方より良い暮らしと宮城が誇る観光地松島の経済発展のためご期待に応えられるよう全力を尽くしてまいりますので、なお一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新年が明けたと同時に能登半島地震、日航機事故を報道等で知り、災害に強い安全安心なまちづくりを考える上で、震災の効果的な備えと防災意識を高めていかなければなりません。厳しさが続く情勢であります。昇り竜のように天に向かって力強く飛躍する年になりますよう、皆さまのご健康とご多幸を議員一同、心よりご祈念申し上げます。

松島町議会 議長 色川 晴夫

あいさつ

教育民生常任委員会



後列左から 高橋利典・片山正弘・後藤良郎・中島一部
前列左から 桜井ていこ・(委員長)小澤陽子・(副委員長)米川修司

総務経済常任委員会



後列左から 赤間幸夫・今野章・高橋幸彦
前列左から 阿部幸夫・(委員長)菅野隆二・(副委員長)櫻井靖

新 委員会構成

詳しくは
こちら



広報広聴常任委員会 広報分科会



後列左から 高橋利典・中島一部・
米川修司・菅野隆二
前列左から (副会長)桜井ていこ・
(会長)櫻井靖・小澤陽子

広報広聴常任委員会 広聴分科会



後列左から 赤間幸夫・片山正弘・
後藤良郎・高橋幸彦
前列左から 色川晴夫・(会長)今野章・
(副会長)阿部幸夫

議会運営委員会



後列左から 菅野隆二・小澤陽子・今野章
前列左から 片山正弘・(委員長)櫻井靖・
(副委員長)桜井ていこ

令和5年 第4回 定例会 提出議案 (12月議会)

議員提案第5号 松島町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
議員の期末手当を引き上げる改正

議案第72号 松島町長等の給与に関する条例の一部改正について
特別職の期末手当を引き上げる改正

議案第73号 職員の給与に関する条例の一部改正について
新型インフルエンザ等対策特別設置法等の一部改正に伴う必要な事項および一般職の職員の給与等を引き上げる改正等

議案第74号 松島町手数料条例の一部改正について
新たに追加される手数料徴収事務を規定するための改正

議案第75号 松島町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
基準府令の一部改正に伴う改正

議案第76号 集会施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
公共施設の老朽化等に伴う反町支館を廃止する改正

議案第77号 松島町国民健康保険税条例の一部改正について
被保険者の出産に伴う当該納税者の所得割額及び被保険者均等割額を減額するための改正

議案第78号 松島町営炭窯等条例の廃止について
町営炭窯および林業研修館を廃止する条例

議案第79号 松島町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について
新型インフルエンザ等対策特別設置法等の一部改正に伴う改正

議案第80号 指定管理者の指定について
指定する名称 松島町児童館及び留守家庭児童学級
指定しようとする団体 株式会社アンフィニ
指定の期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで

議案第81号 令和5年度松島町一般会計補正予算(第5号)
物価高騰対応重点支援給付金事業および職員の給与の改定に伴う人件費等の補正

議案第82号 令和5年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
システム改修および職員の給与の改定に伴う人件費等の補正

議案第83号 令和5年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
後期高齢者医療保険基盤安定負担金の額の確定に伴う補正

議案第84号 令和5年度松島町介護保険特別会計補正予算(第3号)
令和4年度塩釜地区介護認定審査事業負担金決算に伴う精算金および職員の給与の改定に伴う人件費等の補正

議案第85号 令和5年度松島町水道事業会計補正予算(第2号)
職員の給与の改定に伴う人件費の補正

議案第86号 令和5年度松島町下水道事業会計補正予算(第2号)
職員の給与の改定に伴う人件費の補正

提出議案・採決表

議案採決結果表

【賛成全員】

【賛成多数】 各議員の表決 賛成→○ 反対→× 議長→議

議案番号	議決日	議案番号	議案名	議決月日	菅野隆二	米川修司	櫻井靖	桜井ていこ	中島一都	後藤良郎	赤間幸夫	高橋幸彦	阿部幸夫	今野章	小澤陽子	片山正弘	高橋利典	色川晴夫	賛成	反対		
議員提案第5号	12月11日	議案第72号	議案第78号 松島町営炭窯等条例の廃止について	12月11日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	1		
議案第73号		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第74号		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第75号		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第76号		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

(都)根廻・初原線道路整備事業等を踏まえ

炭窯・林業研修館は 年度末廃止へ

議案 審議

議案審議

議案第73号
職員の給与に関する条例の一部改正について

質疑

赤間幸夫議員 在宅勤務手当の新設に関して今後の取扱いは。
総務課長 本町では今のところ在宅勤務を想定していない。

今野章議員 会計年度任用職員は現在、勤勉手当が支給されていないが、今後の処遇改善に関して町の考えは。
総務課長 会計年度任用職員の職務内容は常勤職員と一部異なることもあり、来年度から対応できるか検討を要する。

賛成全員・可決

議案第74号
松島町手数料条例の一部改正について

質疑

赤間幸夫議員 受理証明書等の交付に関して、上質紙による交付とはどのようなものか。

町民福祉課長 婚姻届の受理証明書を記念に保管希望の町民に対して交付している。

賛成全員・可決

議案第76号
集会施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

質疑

桜井ていこ議員 地域の集会施設のあり方に関して、今後の管理体制を含め町の考えは。
総務課長 そもそも公共施設として整備すべきものではなく、新たに集会施設を整備する計画はない。

※このほかにも赤間幸夫議員から質問がありました。

賛成全員・可決

議案第77号
松島町国民健康保険税条例の一部改正について

質疑

今野章議員 出産届に関して被保険者本人が個人番号を取得していないでも提出できるのか。

町民福祉課長 本人であることが確認でき、母子健康手帳と照合できれば提出可能である。

賛成全員・可決

議案第78号
松島町炭窯等条例の廃止について

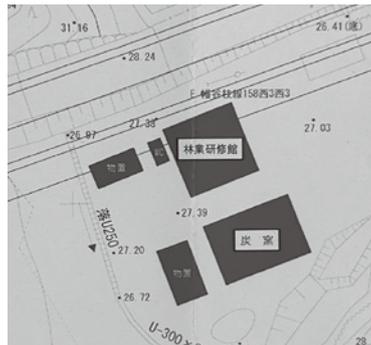
質疑

櫻井靖議員 炭窯等の廃止が決まった場合の解体費用は。
建設課長 林業研修館については、根廻・初原線にかかる補償物件となり、交付金事業で解体する。炭窯については、交付金対象にならず、町の単独費で解体を考えている。

今野章議員 炭窯施設を解体ではなく、移設という方向で活用する考え方は無いのか。

産業観光課長 宮城県および森林組合と話をしたが、炭焼きの指導者確保や炭窯の維持管理等の課題もあり、現時点では考えていない。

賛成多数・可決



道路の計画図

議案第80号
指定管理者の指定について

質疑

後藤良郎議員 需要はあったが提供する部分が少なかったファミリーサポート事業において、新たな提案をされているが、町はどう考えているか。

町民福祉課長 ファミサポートを知ってもらう機会を増やそうと、説明会の実施やSNSでの発信など、子育て世代に適合しながら地域課題に取り組む姿勢を感じている。

小澤陽子議員 指定管理者の変更について、子どもや保護者に対する通知はどうするか。

町民福祉課長 段階的に打ち合わせを行って通知していくとともに、子ども達が不安にならない環境を作っていきたい。

※このほかにも菅野隆二議員、今野章議員から質問がありました。

賛成全員・可決

物価高騰に伴う影響を被る低所得世帯の方々に対して 支援金給付を迅速かつ着実に実施

補正予算

議案第81号
令和5年度松島町一般会計補正
予算(第5号)

●一般会計補正額

3億1,579万円

○過年度震災復興特別交付税返
還金 1億7,202万円

○物価高騰対応重点支援給付金
1億1,445万円

○住民基本台帳システム改修業
務委託料 418万円

○宅配夕食サービス事業業務委
託料 220万円

○障害者自立支援給付審査支払
等システム改修業務委託料
50万円

質疑

米川修司議員 宅配夕食サービ
ス事業の業務委託料が食数の実
績見込みに伴い増額となってい
るが、その要因と利用者負担金
や委託料単価の来年度以降の見
通しは。

健康長寿課長 増額の要因は利
用の実人数と総食数が増えたこ
とによる増額である。利用者の
自己負担額については物価高騰
の影響もあり、検討が必要と考
えているが、今のところは上げ
るべきか据え置くかということ
については、まだ決定はしてい
ない。単価については契約額の
範囲内で収まるように努力して
いただく。



後藤良郎議員 住民税非課税世
帯へ7万円の物価高騰対応重点
支援給付金は評価している。年
内の給付が可能かどうかも含め
議決後の流れをお伺いする。

町民福祉課長 年内給付は厳し
いが、12月中に対象世帯へ給付
の通知を行えるように進捗を図
り、令和6年1月からの給付開
始を目標としている。

櫻井靖議員 個人の方からの3
00万円の寄附に対して幼稚園
や保育所の本を購入するという
ことだが、どんなものを何冊ぐ
らい購入する予定なのか。また、
本を増やした場合には新たな保
管スペースが必要ではないか。

教育課長 1施設50万円前後の
予算となり、150から250
冊の絵本が購入できると考えて
いる。それ以外にも今まで1冊
1万円前後と高価で買えなかつ
た大型の絵本や紙芝居などに
いても購入できると想定してい
る。保管場所の確保については
寄附申出者の意向に合わせて寄
附金での本棚購入も考えている。

赤間幸夫議員 幼児教育図書
購入に使われるという個人の方
からの寄附はいつの時点で寄附
されたものなのか。



教育課長 令和5年10月19日に
寄附採納の申出があり、既に寄
附金のほうも納めていただいで
いる。

そのほか、議案第83号令和5年
度松島町後期高齢者医療特別会
計補正予算(第2号)、議案第84
号令和5年度松島町介護保険特
別会計補正予算(第3号)、議案
第85号令和5年度松島町水道事
業会計補正予算(第2号)、議案
第86号令和5年度松島町下水道
事業会計補正予算(第2号)に
ついては質疑なし。

全て賛成全員・可決



よねかわ しゅうじ 議員
米川修司

問 町の重要な社会基盤として 新たに図書館を設置する考えは

答 本町図書室における蔵書数等是他市町に比べても遜色のないレベルであるため検討していない

問 学校図書室の現在の蔵書構成はバランスがとれていないが、図書選定に関して組織的かつ計画的に行うための具体的対策は。

教育課長 実際は各学校の特色に応じた構成になっているが、図書委員会の意見を聞きつつ、図書司書や図書担当教諭等が協議し学校の実情を踏まえながら選定している。

問 児童生徒が図書室で興味のあることを調べる授業時間が十分ではないが、町は現状をどのように認識しているか。

教育課長 現在も児童生徒の発達段階に応じて図書資料を整理しているが、図書室の活用に加えて、タブレット端末等も活用しながら興味のあることを調べる時間を今後も確保していく。

問 児童生徒の居場所の提供や家庭・地域における読書支援等の観点から、図書室は常時開放されるのが望ましいが今後の運営方針は。

教育課長 学校のセキユリティを考慮すると常時開放は難しいが、図書司書の勤務時間の割振りを含め、図書室が下校時まで児童生徒の居所になるよう柔軟な運営に努めていく。

問 公共図書館は町の多種多様な情報資産を結びつけるハブとして、町の重要な社会基盤となることから、勤労青少年ホーム図書室とは別に、新たに図書館を設置する考えは。

教育課長 本町図書室は「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」を考慮しながら運営されており、蔵書数等是他市町に比べても遜色のないレベルであるため、図書室を残したまま新たに公共図書館を設置することは検討していない。

問 図書館は地域外からの通勤者や通学者にも門戸を開いて積極的にサービスを提供できる場であるだけでなく、様々な形で地域の観光の魅力づくりや活性化に寄与する余地もあるが、観光分野における図書館のあり方に関する町の見解は。

教育長 観光客が最初に図書館を訪れるのか疑問であるが、観光客が本を読むことで松島について深く知る機会が得られるのであれば、本町図書室において松島関連の本を更に増やすよう努める。



雄大なオホーツク海を望める雄武町図書館（撮影オラシオ）



さくらい 桜井ていこ 議員

問 男女共同参画基本計画策定後の 取り組み状況は

答 意識啓発情報の共有を図る

問 令和5年3月に策定された男女共同参画基本計画施行後、人権擁護委員や農業委員に女性を選出するなど前進している。男性は仕事・女性は家庭の昭和モデルから、全ての人が希望に応じて活躍できる令和モデルに切り替える今、町の推進体制について伺う。

総務課長 令和4年10月から推進本部を設置し、意識啓発・情報の共有を図っている。また、各種審議会、町内会、自治会活動において参加率を上げていきたい。

問 誰もが参加しやすい配慮が必要。松島町の男女共同参画推進町民会議の設置や今後の予定は。

総務課長 現状では設置していない。今後、会議等を通して理解を深めていただけるよう努力していく。

問 令和5年4月に認定こども園が開園されたが、町との情報共有や研修は図られているのか。ジェンダー教育（男女平等）についての研修は。

町民福祉課長 開園以降は月1回程度の連絡調整会議を開催し、統括的に行っている。こども家庭庁からの情報共有のほか、1月には幼稚園と保育所合同の研修も予定している。

教育課長 ジェンダー教育は、文科省指導の下で小中学校カリキュラムを作成しており、研修等の内容を充実させていきたい。



シンボルマーク

一般質問

問 ベビーケアルームの整備予定は

答 観光地として環境づくりの啓発に務める

問 宮城県のモデル事業「宮城県置き型授乳室」をレストハウス内に設置されているが利用状況は。日常の清掃・消毒、紙おむつなどの汚物処理の状況は。

産業観光課長 利用では年間372件、月平均31件。清掃や消毒は利用毎に観光協会の職員が行っている。おむつ交換は、多目的トイレの使用を案内し、汚物処理は宮城県で行っている。

問 観光地松島として授乳施設の整備を考えてみては。

産業観光課長 町で進める社会全体で子育てしやすい環境づくりに寄与するよう事業者と設置啓発に努めていく。

問 松島町文化観光交流館のトイレにオムツ（乳幼児用・大人用）の持ち帰りをお願いしているが、負担軽減の改善はできないか。

教育次長 指定管理者と検討し、トイレにおむつポットの設置を男女それぞれ1基設置した。



松島観光協会レストハウス内の
新型授乳室（宮城県産木材）



アトレ内の多目的トイレ内部



なか しま かず と 議員
中 島 一 都

問 中学校部活動の地域移行について

答 出来るところからすこしずつやっていく

また、中学校の生徒および保護者、教員を対象に部活動地域移行に関するアンケート調査を実施し、前回よりかなり進ん

でいると認識している。

教育次長 アンケート調査実施の結果および検討委員会の内容は。

教育次長 生徒からは同じ中学の仲間同士で部活をしたいと言う声が多かった一方、保護者からは専門的な指導が受けられる、教師の負担が軽減されるという観点から賛成が多かった。また、教員は、休日の指導や大会引率、勤務時間を超えての指導が負担になっているとの声も上げられた。その結果を検討委員会で報告している。

町長 スポーツ庁が地域活動移行検討委員会を立ち上げ、県の保健体育安全課、松島中学校、松島町PTA連合会、松島町体育協会、松島町スポーツ推進委員会、総合型地域スポーツクラブ等の各代表に参加して頂き7月10日に第1回協議会を開催している。

町長 スポーツ庁、文化庁より示された中学校部活動および新たな地域クラブ活動のあり方等に関する総合的なガイドラインについて本町の進捗状況は。

町長 令和7年度に向け、全ての部活動が足並みをそろえて移行するのは困難と考えるが、実現に向けた今後の課題は。

教育次長 まずは土日の部活動を地域移行した場合に、指導者不足や適性人材の選任、指導料の問題があり、指導者報酬の財源についても県を通し国へ要望していく必要がある。また運動部が移行した後、吹奏楽部の指導者など課題もあるが、出来るところから少しずつ進めていく。

委員長 数年間は覚書など取る必要がある、どちらもウイン・ウインにならないと続かない。その様な約束事を決めた上で移行を考える。

町長 スポーツ庁が地域移行をうたつてきて、そこに文科省が乗っかってこない。それから予算がついてこない。スポーツ関係、文化系でも予算を組んで指導者の方々を確保しなければうまくいかない。県内もしくは日本国内で統一された中で始まるのが筋である。

教育次長 県では指導者の人材バンク設立の動きはあるが市町村単位での設立は課題も多い。

町長 スポーツ庁が地域移行をうたつてきて、そこに文科省が乗っかってこない。それから予算がついてこない。スポーツ関係、文化系でも予算を組んで指導者の方々を確保しなければうまくいかない。県内もしくは日本国内で統一された中で始まるのが筋である。

町長 スポーツ庁が地域移行をうたつてきて、そこに文科省が乗っかってこない。それから予算がついてこない。スポーツ関係、文化系でも予算を組んで指導者の方々を確保しなければうまくいかない。県内もしくは日本国内で統一された中で始まるのが筋である。



大会の様子 (バドミントン部)



さくら い やすし
櫻井 靖 議員

問 町民と海外、外国人の交流を積極的に進めてはどうか

答 外国人研修生のふれあいスポーツ大会等への参加を検討したい



韓国麗水で行われた世界で最も美しい湾クラブ総会

問 町長は、先日韓国麗水で行われた世界で最も美しい湾クラブの総会に出席し、どのようなことを感じてきたか。

町長 総会では、各国の代表者により、「地球という1つの仲間として子ども達との未来を据えて共に力を合わせ地球環境問題に取り組んで行こう」というテーマで議論がされた。

松島は日本国内で一番初めに加盟したが、他の地域と人口規模が異なるため、予算の組み方、考え方、持っていき方が全て異なる痛感した。今後は国内の加盟自治体同士との提携が必要であると感じた。

問 本町にも多くの外国人研修生が住んでいる。そういった外国人と町民の交流について町として考えることはあるか。

教育次長 外国人研修生の方にはふれあいスポーツ大会や文化観光交流まつりなどに参加してもらうことは、地域や各種団体の方々と触れ合い、交流が深められることもあるので、実行委員会や研修生の受入先などと相談して検討したい。

問 防災に対する町民への啓発はどうなっているか

答 地域に向いて防災講話など啓発を図っていききたい

問 ほとんどの町民は、テレビ回覧板、防災行政無線テレホンサービスについて知らない。この状況を踏まえ、町としてはどのように考えているのか。

危機管理監 テレビ回覧板については、4月広報同封のチラシおよび広報6月号に記事を掲載し、防災行政無線テレホンサービスについては4月から6月号の広報に記事掲載しており、11月号からは広報の裏表紙に継続的に掲載する。

また、それだけでは周知は足りないと感じているので、自主防災訓練などで事あるごとに実際テレビのリモコンなどを利用しながら周知するなどよい方法を考えていきたい。



テレビ回覧板

問 町民の啓発について町でどのようなことを考えているのか。

危機管理監 町民が自らの安全を守るために防災意識を高めることが重要と考える。防災情報の発信や自主防災組織活動の支援など、引き続き継続的に、地域に向いて各種団体や住民を対象とした防災講演など様々な機会を設けて町の防災に関する啓発を図っていききたいと考えている。



かの りゅう じ 二 議員
菅野隆二

問 各地域で実施している除草作業の現状をどのように捉えているのか

答 地域の負担が増加していることを大きな課題であると受け止めている

問 地域住民がボランティアとして実施している道路や公園等の除草作業について、現在の状況を町としてどのように捉えているのか。

町長 人口減少や高齢化などの理由から除草をお願いしている地域の負担が増加していると認識している。特に農村地域では対象箇所も多いことや作業への参加者が年々減少していることもあり、大きな課題であると受け止めている。



問 住民の負担を軽減するための考えは。

建設課長 町としては地区での除草範囲縮小および歩行型草刈り機の貸し出しなどによる負担軽減を考えている。

問 除草作業に年間どの程度の予算がかかっているのか。

建設課長 令和5年度の道路・公園の除草費は道路除草業務委託および町直営作業の人件費を合わせると7百万円程度となっている。

問 人口減少や高齢化が更に進み、地域での除草作業ができなくなった場合の予算の見込額は。

建設課長 地区で実施している除草作業を全て町で実施した場合の予算は現在の年間7百万円から2千万円以上に増加すると推測している。

問 草刈りにダイエットや宝探しなどを組み合わせさせてイベント化することで参加人数の増加が見込めるのではないかと。

建設課長 参加人数増加を狙ったイベント化は現在のところ考えていない。

問 田植え・稲刈り体験の今後の考えは

答 今後も継続的な開催に努めていく

問 親子での田植え・稲刈り体験は自然や地元の人と触れ合いながら農業を体験できる素晴らしいプログラムである。今年度の参加人数や参加者の感想などを伺う。

教育次長 田植え体験は24名、稲刈り体験は20名の参加となっており、参加者からは好意的な感想を多くいただいている。

問 来年度以降も継続的に開催していく考えはあるのか。

産業観光課長 協力をお願いしている仙台農協青年部松島支部との調整が必要だが、非常に良い手ごたえを感じているので今後も継続開催に努めていきたい。

問 仙台農協青年部松島支部の方々は無償で協力してくれているとのこと。今後も継続的な開催を目指すのであれば予算化することも必要ではないか。

教育次長 今年度も農協青年部の方々にはボランティアという形でご協力をいただいた。今のところは今後も予算化はせず同様の形で考えている。





今野 章 議員
の
あきら

問 国民健康保険証の存続は

答 資格確認書を交付し、 国の方針に沿って運用する

問 来年秋、健康保険証が廃止されマイナ保険証となる。この間、誤登録や個人情報漏えいなどで見直しの論調も広がりマイナ保険証の利用率は減少し続けているが、本町のマイナンバーカードの普及状況は。

町長 マイナンバーカード交付率は75.8%。国保被保険者数2,786人に対して1,645人、59%が保険証利用登録をしている。

問 マイナンバーカードの取得は任意だが、マイナ保険証への一本化は取得を強制することになる。取得しなければ医療も受けられなくなる状況を、町長はどう受け止めているのか。

町長 マイナンバーカードの利便性、マイナ保険証利用のメリットを来年秋までに広く周知し、安心して利用できるような方針にのっとり対応したい。

問 マイナ保険証がない被保険者には資格確認書が発行されるが、毎年自動的に発行されるのか。

町長 従来の保険証は令和7年秋まで使用できるとの情報がある。資格確認書は申請がなくても交付し、有効期限も国の方針が示されると思う。

問 マイナ保険証も資格証もなければ保険医療を受けられない。現行の保険証発行を国に求める考えはないか。

町長 マイナンバーカードが申請主義である限りカードを持たない方は出てくる。必要な時に必要な医療が受けられるよう資格確認書を交付し、国の動向、方針に沿った運用を行う。



問 指定避難所の防災強化、
体育館等にエアコンを
多額な整備費用が必要で
導入は難しい

問 内閣府から指定避難所の防災機能、設備等の確保状況に関する調査結果が示された。項目は非常用発電機等、飲料水の確保対策、冷房機器、ガス設備、通信設備、断水時のトイレ対策となっているが、本町の充足状況を伺う。

危機管理監 冷房機器以外は、44か所全てで充足している。冷房機器は、小中学校の体育館や、東部地域および手樽地域交流センターで充足できていない。

問 文科省は今年4月、避難所の役割も担う体育館の空調施設と断熱性能確保を要請している。現在、補助率も引き上げられており、小中学校の体育館の空調設備を充実すべきではないか。

教育課長 空調設備は、猛暑や熱中症対策、災害発生時の避難所として重要な課題だが、断熱性の確保も含め多額の整備費用が必要なか、ランニングコストを踏まえると早急な導入は難しく慎重に検討したい。



たか ほとし のり
高橋利典 議員

問 鳥獣被害防止対策（イノシシ）について

答 注意喚起を図りながら支援などは検討課題

産業観光課長 電話があったところに臨場して、被害現場を見ている。

問 稲の倒伏や畦畔の掘り起こしによる排水路の埋設など、被害の把握について耕作者から直接聞き取りをしているのか。

産業観光課長 令和3年度は10アールで8万3千円、令和4年度では77アールで89万8千円、令和5年は15アールで18万3千円になる。いずれも水稲と野菜類の被害になっている。

問 令和3年、4年、5年のイノシシによる被害状況について伺う。

町長 1軒1軒、町で調査することは困難である。JAや組合員の協力を得ながら被害の調査を行っていききたい。また、畦畔の掘り起こしなども被害として認めるか今後の課題である。

問 目撃情報や被害、捕獲の情報などデータベース化して地図や画像をモバイル端末から確認できる鳥獣被害対策システムの導入が必要ではないか。

町長 鳥獣被害対策実施隊などの支援を受けながら、イノシシ等の出没状況および被害状況を情報収集し、把握に努め注意喚起を図りたいと考えている。

問 イノシシの侵入防止対策として電気柵やワイヤーメッシュなどがあり、設置には高額な費用がかかる。自治体によっては県の交付金を活用し対策されている。設置にあたり補助制度の導入について伺う。

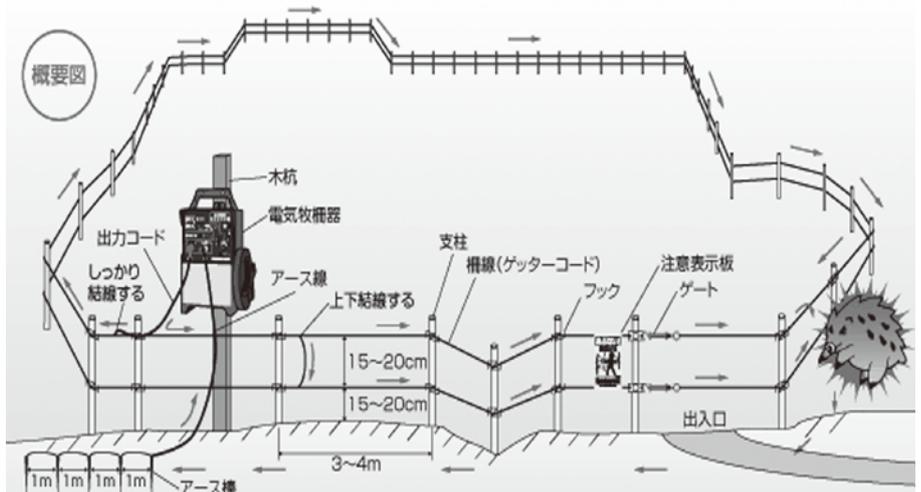
産業観光課長 機材導入の補助制度は設けていない状況である。耕作者が自ら電気柵などで防止対策を行っている。被害状況を考慮し、交付金の活用も含めた支援については、今後の検討課題とさせていただきます。



稲の倒伏被害

問 イノシシは、「ウリ坊」と呼ばれる幼獣を1頭捕獲しても個体数は増加し、捕獲による効果が出にくい。そのため、侵入防止柵の設置や生息環境整備などの総合的な対策が他の鳥獣以上に必要と感ずる。今後の町の対策は。

町長 鳥獣の捕獲等はもちろん、追い払い、集落の点検、見守り、侵入防止柵や緩衝帯の設置など、町、耕作者、JA、鳥獣被害対策実施隊が一体となって対策を検討していきたい。



侵入防止電柵システム



あか ま ゆき お
赤間 幸夫 議員

問 魅力あるまちづくり推進のために

答 定住・子育て・交流を推進していきたい

問 安全・安心のある町としていくために、優先して取り組もうとする施策は。

町長 松島に住んでよかった、来てよかったと思っていただけのように、松島町長期総合計画の重点戦略に定めている定住・子育て・交流を推進していきたい。

問 各行政区役員の成り手不足と聞く。町のテコ入れ策は。

町長 行政区から相談を受け、地域の実情に合った解決策となるよう協力していく。

問 町民との行政懇談の場が重要度を増すものと考えているのか。どのように描いているのか。

町長 次期長期総合計画を策定する中で、行政区との意見交換の場を設ける。また、アンケート調査を実施するなど住民の意見を反映できるよう努めていく。



初原地区墓地管理組合の活動の様子

問 町営墓地のあり方について

答 大きな課題、問題と考える

問 町営墓地2カ所（三浦・古浦町営墓地）の生い立ちは。

副町長 三浦墓地は昭和55年9月から、古浦墓地は平成6年6月から公共施設として管理している。

総務課長 三浦墓地は、昭和51年12月の三浦共葬墓地新設の陳情が始まりである。昭和53年9月に

土地の寄附を受け、その後、昭和55年7月、墓地の造成が完了し、昭和55年9月定例会において松島町営三浦墓地管理条例を制定後、公共施設として管理を始めた。次に、

問 各地区の共葬墓地のバランスから町営墓地条例のあり方について、再考は正すべきではないのか。

古浦墓地は昭和58年、古浦地区の住民から墓地新設の要望があったことが始まりであり、平成3年11月、新設に関する陳情が提出され、平成5年1月に土地の寄附を受け、平成6年6月定例会において松島町営三浦墓地管理条例の全部改正による条例施行を経て三浦墓地と合わせ古浦墓地の管理が始まった。

副町長 各地区の共葬墓地は、明治17年の墓地および埋葬取締り規則での許可を受けている。その後、現行法である墓地、埋葬等に関する法律に基づく許可を受けたものとみなされている。議員から誠意ある答えを望まれる、だから難しい。大きな課題、問題とされている。

指定管理を可能とするため、平成18年9月定例



おざわ ようこ 議員
小澤陽子

問 広報・公聴のあり方について 町長が出向いての行政懇談会を

答 相手方のことを把握しこちらからお伺いしたい

問 3年前の議会報告会
で出た意見がその後、ど
のように行政運営に反映
されたか伺う。令和元年
から現在まで地域住民か
ら側溝清掃の要望数と清
掃件数は。

建設課長 令和元年から
現在まで、地区からの要
望数は41件で全て実施済
み。地域住民の側溝清掃
数は29件。今後でも要望や、
浸水区域等を中心に堆積
状況を確認しながら対応
する。

問 はす池の清掃につい
てその後の経過は。

町長 池に枯れ葉が落ち
ないように樹木の剪定作
業を実施した。堆積土の
除去作業の必要性がない
ことを松島区と共有して
いる。

問 町民グラウンド向か
いの水路の悪臭の改善に
ついて、その後の経過は。

水道事業所長 側溝は宮
城県の管理となる。清掃
等の要望を行っているが
改善されていない。今後
も要望していく。

問 町民だれしもが参加
できる行政懇談会を開催
してほしいとの意見が全
地区から出ている。開催
の予定は。

町長 町長が出向いての
行政懇談会を希望されて
いるとの意見をくみ取り
ながら、目的と相手方の
こともしっかり把握し、
こちらからお伺いしたい
と思う。

問 子どもたちと高齢者を
取り巻く環境整備について

答 弱者の命を考え順次に取り組み

問 各小学校の特別教室
へのエアコンの設置予定
は。

教育課長 活動状況を考
慮しながら設置を検討す
る。

問 勤労青少年ホームで
エアコンがない部屋の設
置予定は。

教育課長 図書室等の早
急な設置は難しく今後、
整備手法や整備時期など
について検討する。

問 運動公園のトイレは、
ほとんど和式で洋式に改
修する予定はあるのか。
高齢者、児童も利用す
るので誰もが心地良く過
せる場所を望みたい。

教育長 トイレの洋式化
は大きな課題だが、教室
のエアコンの耐用年数が
来る。体育館のエアコン
の件もある。沢山ある中
で、頻度数や必要性と必
然性、子どもの命。特に
弱者のほうの命を考える
とおのずと設置の順番が
決まるので順次取り組ん
でいく。



松島区のはす池

一部事務組合議会報告

塩釜地区消防事務組合

令和5年10月30日(月)

令和5年第3回定例会

議案の審査状況

行政報告

①火災発生件数37件

(前年比3件増)

②救急出動件数

管内 7,991件

(前年比627件増)

③要介護認定審査判定

管内 3,953件

審査回回数131件

④障害支援区分判定

管内 146件

審査回回数14回

⑤し尿及び浄化槽汚泥搬

入実績 3,841トン

(前年比161トン減)

⑥塩釜斎場及び塩釜地区

りふ斎苑利用実績

管内 1,299件

(前年比157件増)

令和5年10月30日(月)
令和5年第3回定例会

議案の審査状況

行政報告

①ごみの搬入状況

23,756トン

(前年比1,614トン減)

松島町分

3,266トン

(前年比51トン増)

令和5年度宮城東部衛生
処理組合会計補正予算
(第1号)

原案のとおり 認定

原案のとおり 可決

②焼却灰等放射性物質濃度、

排ガス中の放射性物質濃

度及び埋立地浸出水処理

水、地下水放射性物質濃

度、各施設敷地空間放射

線量の測定結果は、い

ずれも目安や基準の範囲

内にある。

※令和5年9月末

賛成全員・可決

※令和5年4月～9月末

米川 修司議員
片山 正弘議員

宮城東部衛生処理組合

令和5年10月30日(月)

令和5年第3回定例会

議案の審査状況

令和4年度宮城東部衛生

処理組合会計歳入歳出決

算の認定について

令和5年度宮城東部衛生

処理組合会計補正予算

(第1号)

原案のとおり 認定

原案のとおり 可決

赤間 幸夫議員

高橋 幸彦議員



議員間で意見交換を行いました

令和5年11月16日(木)、
埼玉県滑川町議会が行政
視察のため来町されました。
滑川町は、東日本大震
災復興の職員派遣や町特
産品の購入支援を起点に
深いつながりが生まれ、
平成24年11月3日災害相
互協定が締結されました。
その後も農林水産物販売
などで両町の交流が続い
ています。行政視察では、
町の中高校生向け教育旅行
誘致事業を調査されたほ
か、議会報告会における
住民との意見交換会の課
題や議会広報のあり方、
議会のデジタル化など両
議会の現状を踏まえて意
見交換を行いました。

トピックス



埼玉県滑川町議会 行政視察



教育旅行について多くの質問がありました

次回

第1回 定例会

3月1日(金)

開催予定

- ▶ 傍聴は役場庁舎1階の「町民の部屋」でも視聴できます
- ▶ 議場で傍聴される方は住所と氏名の記入をお願いします

議会情報はここからどうぞ

まつしま議会だより
バックナンバー

こちらから



松島町議会
ホームページ

こちらから



町民インタビュー

議会だより表紙に各地区の活動を紹介します。今回は本郷分館の分館長にインタビューしました。

本郷分館分館長

ほうじょう ひさや
北 條 久 也 さん



分館活動は、年に何回くらいおこなっているのですか。

コロナ禍中はお休みをしておりましたが、本郷区の行事としては、レクリエーション大会やバスハイク（旅行）・忘年会・新年会など企画しております。

今年はどうでしたか。

久しぶりにバスで岩手方面に出かけました。表紙の写真はその時のものです。年末には本郷分館の清掃と忘年会を行いました。

表紙の写真は分館長が撮影されたので、ご本人様がおりません！残念です。最後に松島町議会に対して何か要望などありますか。

議員の活動がもっと見えるといいと思います。

編集後記

令和6年は元日から大きな地震が北陸地方で発生し、緊張感を持った幕開けとなりました。被害に遭われた方々に対し謹んでお見舞い申し上げます。

今年も、東日本大震災の発生から13年となります。いつまでもこのことを語り継ぎ、決して風化させることなく日頃の備えをしなければならぬと改めて感じさせられ、議会としても町の行政と共に町民の皆さまの安心・安全のため尽力してまいりますと考えております。

さて、任期の折り返しとなり委員会の構成委員が変更になりましたが、広報分科会メンバーは替わることなく継続することとなりました。

今後もより良い紙面づくりに励んでまいりますので、どうぞよろしくお願ひします。

(櫻井 靖)

広報広聴常任委員会広報分科会

- 会長 櫻井 靖
- 副会長 桜井ていこ
- 委員 菅野 隆二
- 委員 米川 修司
- 委員 中島 一都
- 委員 小澤 陽子
- 委員 高橋 利典